

## 「風を感じる」「空が見える」「視点が低い」 非日常の運転環境が 走る楽しさをさらに高める

スピードをコントロールするという「走る楽しさ」をもたらしてくれるのは、エンジンのパワーだけではありません。時速何百kmもの速さで飛ぶ飛行機よりも、せいぜい50km/hか60km/hしか出ない、遊園地のゴーカートの方がスピードを感じられるのと同じように、風を切る感覚、空の見え方、地面との近さなども「走る」という行為を価値あるものに高める、重要な要素だと私たちは考えます。

ルーフは誰もが気軽に「オープンエア」の気持ちよさを味わうことができるよう、「外してクルクルとたたむ」だけの「ロールトップ」構造を新開発。その上で、ボディの構造から工夫することでシートの取り付け位置を低く設定し、ペダルもできるだけ上に、前へ配置することでレーシングカートのような「非日常」の運転感覚を追求しました。

